

外国人従業員向け日本語教室

第1期「今すぐ使える！しごとの日本語教室」

主催：(公財)横浜市国際交流協会

「今すぐ使える！しごとの日本語教室」は横浜市内の企業で働く外国の方のための教室です。就業する外国人の増加に伴い、職場で使う日本語の学習を希望する外国人も増加しています。

この教室は、外国人従業員が仕事や生活に必要な日本語や、職場での円滑なコミュニケーションのコツを学ぶこと、また同じ職場で働く日本人と外国人従業員との交流・相互理解を深めることを目的として、開催しました。

教室では職場にふさわしい丁寧な日本語表現の他、職場でのコミュニケーションのきっかけとなるよう、雑談などもテーマに取り上げ、会話を中心に学習を進めました。

最終回には、企業担当者や異文化理解講座参加者と、やさしい日本語で交流会を実施しました。これまでの学びを活かし、丁寧な日本語で自己紹介をしたり、相手の仕事や日本の生活について互いに質問し合い日本語での交流を楽しみました。

【教室で学ぶこと】

① しごとの日本語

② しごとのマナー

③ 横浜生活情報

内容	しごとの日本語 ・ しごとのマナー ・ 横浜生活情報
講師	(一財)日本国際協力センター
日時/場所	2024年7月3日(水)～9月11日(水) 毎週水曜日 19:30-21:00 (全10回) オンライン(Zoom)、第10回のみ対面開催(横浜市国際交流協会会議室)
対象	横浜市内の企業で働く外国人従業員
参加人数	学 習 者 :15人 (ベトナム7, 中国5, タイ2, インド1) のべ126人 建設、IT、エネルギー、清掃、電気、輸入、サービス等 7社 第10回交流会参加者:9名 (5社1団体)

参加者の声

- とてもいい教室で楽しかったし、大好きな勉強でした。
- 話す時間が多いことが、よかったです。
- 職場の人が授業で習った単語を使っているのを聞いたときなど、勉強したことが仕事の時に役に立っています。
- いろいろな日本の文化を勉強しました。

企業担当者の声

- 参加したスタッフから楽しいと聞いていました。
- 受講生とはチャットメールでのやりとりが多いが、以前は「はい」「分かりました」だけの返信だったのが、文章を長く具体的に返信してくれることが増えました。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

外国人従業員向け日本語教室

第1期「今すぐ使える！しごとの日本語教室」

第1回～第9回
オンライン

レベル毎にAグループ、Bグループに分かれ、仕事でよくある場面を取り上げて学習を進めました。「前もって休みの許可を取る」というテーマでは、学習者から「休みたいです。いいですか。」という表現が出ましたが、①「今よろしいでしょうか(上司の都合を尋ねる)」②「母を病院に連れて行くので、お休みをいただいてもよろしいでしょうか(理由を言って、休暇の許可を求める)」のように、話の流れと上司などの目上の人に話す際のよりよい日本語表現を学び練習をしました。

また日本の職場でのミスコミュニケーションの事例を取り上げ、「5分前に出勤すること」「帰宅の前に周囲に手伝いが必要か声をかけること」についてグループで意見交換をしました。「定刻に来ることは何が問題なのか」「日本のこのような習慣に今はもう慣れたから大丈夫」など、それぞれの意見を出し合いながら日本の仕事の習慣に理解を深めていきました。

【Aグループ】カリキュラム

- | | |
|----|-------------------|
| 1 | オリエンテーション・日程調整をする |
| 2 | 案内メールの送信・返信 |
| 3 | |
| 4 | 期限延長の依頼 |
| 5 | 仕事でミスをしたときの対応 |
| 6 | 休暇の許可をとる |
| 7 | 担当業務について説明する |
| 8 | 業務内容の報告・相談 |
| 9 | 交流会準備 |
| 10 | 企業担当者との交流会 |

【Bグループ】カリキュラム

- | | |
|----|--------------------------------|
| 1 | オリエンテーション・自己紹介 |
| 2 | 日本語クラスでコミュニケーション①
初日 |
| 3 | 指示を受けたとき |
| 4 | 日本語クラスでコミュニケーション②
休日の過ごし方 |
| 5 | 仕事におくれるとき |
| 6 | 仕事について話す |
| 7 | 休暇の許可をとる |
| 8 | 日本語クラスでコミュニケーション③
出身地について話す |
| 9 | 交流会準備 |
| 10 | 企業担当者との交流会 |

第10回
対面会場開催企業担当者
とやさしい日本語で
交流会

これまでの教室での学びを活かし、「自分の知りたいことについてインタビューができる」「相手の発話を聞き取り、内容を理解できる」ことを目標に、企業担当者や異文化理解講座受講者と交流会を実施しました。

まず学習者から丁寧な日本語で、出身地や自身の仕事の内容も交えて自己紹介をした後、グループで質問をし合いました。日本人の参加者も相手に伝わりやすいよう、ゆっくり話す、難しい表現は言い換えるなど工夫しながら対話を進めていました。

学習者からは「ごみの捨て方」「横浜のおすすめスポット」「安く自転車が買える場所」など生活に関わる質問もあがり、市内のリサイクルショップについてなど、実際に役立つ生活情報も得られたようです。

最初は少し緊張する様子もありましたが、最後は交流会後も立ち話をするなど日本語でのコミュニケーションを楽しんでいました。



よこはま日本語学習支援センター
Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

